

天沼中だより

6 天沼中第233号

令和6年10月30日

杉並区立天沼中学校

自主・自律・共生



見方・考え方をプラスに変えて

校長 池田 和幸

10月11日（金）に杉並公会堂にて本校の音楽発表会が開催されました。多くの保護者の皆様にご来場いただき、誠にありがとうございました。1年生は元気よく、明るい声で歌い上げ、2年生は響きが重厚になり、男声と女声のハーモニーが複雑になった曲を歌い上げました。3年生では、男子、女子ともに変声が進み、一層深みのある声で表現力高く歌い上げました。3年生の合唱曲は全クラス伴奏なしのアカペラで、練習で音程をつかむことや、各パートでリズムをそろえることに苦労している様子が見られましたが、本番では全クラス見事に歌い上げていました。

自分自身が担任として合唱コンクールに携わっていた頃を思い返すと、「いい歌を歌ってもらいたい」、「音楽の楽しさを味わってほしい」、「自分たちで創りあげることの素晴らしさを知ってほしい」というような様々な思いをもちながら、本気になって取り組んでいたことが思い出に残っています。様々な曲でコンクールに参加してきましたが、自分の学級が歌った歌は全て特別な思いがあります。担任という直接歌を歌う立場でなくても、このように思い出に残るものですから、一生に一度しかない中学生という時期に歌った合唱曲は、生徒の心に深く刻まれていくものだと思います。

音楽発表会の最初の挨拶で「絵を平面の芸術、彫刻を立体の芸術とすれば、音楽は時間の芸術と言えるのではないか、時間というのは、特性として不可逆的なもの。過ぎ去った時間は戻れない。録音して聞くことができるが、そのとき、その場で聴くライブ演奏は、他に代えることができない貴重なもの。音楽発表会の発表をかけがえのないものとして楽しんでほしい。」という内容をお話いたしました。音楽は聴覚に訴える芸術ですが、音符や休符には長さが必ず示されているように、時間が深く関係する芸術です。

時間についていろいろと考えてみると不思議な特性があります。時間を計る単位は、1日24時間、1時間60分、1分60秒というのは、皆同じです。1日の長さは誰にでも平等に与えられているもので、人によって物理的な長さが違うことはありません。しかし感覚的な時間の長さは人や状況によって大きく異なります。子供の頃は1日、1年がとても長く感じていたのに、大人になればなるほど感じる時間が早まります。「もう11月なのか、この間正月を迎えたと思っていたのに」なんて会話は、年をとればとる

ほどよく聞かれるものです。あるテレビ番組で子供と大人の時間の経過の感覚の違いはどうして生まれるのかについて解説をしていました。それによると子供時代は経験することが何もかも初めてで、様々な感動やときめきがあることで、時間を長く感じているとのことでした。逆に大人は様々な経験をしてきたことで、感動やときめきを失ってしまって、時間が早く過ぎ去ってしまうように感じてしまうと説明されていました。初めての場所に行くときに、到着まで長く感じるのに、帰路は短く感じるのもこの理由のように思います。それとは逆に、自分の中で興味があり、面白い授業、楽しい授業の1時間はあっという間に過ぎるのに、興味がなくなつまらない授業は1時間がとても長くなることは、誰もが経験していることではないでしょうか。

3年生はこれから進路決定に向けて、受験という大きな人生の選択のタイミングがやってきます。これからは高校入試に向けた学習の最後の仕上げの段階に近づいていきます。何人もの生徒から「受験勉強しんどい」、「嫌だな、早く終わりたい」という声を聞くことがあります。こういう時の時間は長く感じるので、なかなか大変です。「受験勉強で新しい発見があった」「勉強が面白くなってきた」という思いになっている時は、あっという間に時間が過ぎます。先ほどの話で考えてみると、前者の場合はつらい時間が長く感じるかもしれませんが、終わってみると案外あっという間に思うかもしれません。後者の場合はすぐに時間が過ぎて終わってみるとこの期間を長く感じているかもしれません。

感動やときめきのようなプラスの感情をもつことが、充実した時間を過ごすために必要だとすると、必然的に机に向かう時間が長くなければならないこの時期に充実した時間を過ごすためには、見方・考え方をプラスに変えて、楽しんで学習することが大切なのだと思います。3年生にとっては、なかなか考え方をプラスに変えていくことは難しいかもしれませんが、これからの人生の中でつらい時期、大変な時期をいろいろと過ごすことは間違いのないでしょう。ここで自分の心のもちようを変える力をつけることができれば、この先必ず役立つことは間違いありません。時間は決して戻せない。だからこそ、今の時間をどう過ごしていきたいのかを大切に1日1日を過ごしてほしいと思います。

令和8年度修学旅行について

今年度探求的な学習の更なる充実のために、指導計画の見直しをおこなって参りました。その中で近年京都・奈良の修学旅行について、インバウンド等の外国人旅行客等の影響が大きくなり、これまでのような十分な学習が行えなくなっていることから、修学旅行の行き先についても検討を重ねて参りました。その結果として令和8年度の修学旅行先を「北海道方面」として計画して参ります。

- 日程的な制約から道央を中心に訪問することになるが、自然科学、人権学習、伝統文化、近現代史、防災など、様々なテーマを選択することができ、幅広い学習活動を行うことができること。
- 往復航空機を利用しても、6月上旬であれば関西方面と費用面で大きな差がないこと。また梅雨や暑さによる気候の影響を受けることが少なく実施可能であること。
- 関西方面と比較して班別学習を行える場所は限られるが、学級を分割しコース別研修など工夫することで、学習の多様性は確保できること。

以上の理由を10月の学校運営協議会においても説明し、ご承認いただきました。今後、業者選定を行い、実施にむけて準備してまいります。

9月・10月の学校の様子

オータムコンサート（9月7日）

9月7日（土）、杉並公会堂で第39回杉並区立中学校オータムコンサートが行われました。夏休みから準備をしてきた吹奏楽部員たちはステージ上では普段より緊張しているようでしたが、演奏が始まると気持ちを切り替え、素晴らしい演奏を披露しました。



生徒会役員選挙（9月10日）

夏休み明けから選挙活動を行っていた生徒会の新役員候補者の立会演説会が行われました。今年は会長候補3名、副会長候補2名、庶務候補2名による選挙が行われました。どの候補者も、天沼中学校をどうしたらもっと良い学校になるかを考え、立派にスピーチを行っていました。



小学生授業体験・部活動体験（9月9日～13日）

今年度もAKA（天沼小、杓掛小、天沼中）の小中連携の一環として、小学生対象の中学校授業体験、部活動体験を行いました。小学校から中学校に進学して大きく変わるものとして授業・部活動があります。期待とともに不安を抱いて進学する小学生たちに少しでも天沼中学校を知ってもらうことが重要です。部活動体験では天中生たちが先輩として小学生を教える姿がたくさん見られました。



命の教育（9月14日）

9月14日（土）に行われた土曜日授業では、命の教育と題して日本臓器移植ネットワーク渡邊京子様に来校していただき「臓器移植」に関する授業や「生きる」をテーマにした道徳の授業公開を行いました。また、地域の方々と教職員との意見交換会を放課後に実施しました。道徳の授業では1年生「あなはたひかり」2年生「奇跡の一週間」3年生「弱さと向き合って」の教材を用いて道徳の授業を行い、生徒たちは様々な自分以外の意見に触れ、考えを深めていました。



生徒朝会（9月30日）小笠原自然体験交流事業発表

生徒朝会において春休みに杉並区の交流事業に参加した〇〇さんの学習発表が行われました。平成24年から始まったこの事業では、世界自然遺産である小笠原の豊かな自然の中で様々な体験や、生徒独自のテーマに沿った研究が行われます。菊池さんは体験を通して自身の感じたことや環境保全についての意見を、パワーポイントを用いて発表していました。



KOTODAMA100 (10月1日～25日)

天沼中学校の特色の一つである KOTODAMA100 が 10 月 1 日から始まりました。英語の単語や早口言葉から始まり、歴史上の偉人が残した格言や物語の一節に至るまで、すべての英文を暗唱するべく生徒たちは一生懸命に取り組んでいました。朝の学習活動で行われる KOTODAMA100 では保護者の方や地域の方々にもご参加いただき、暗唱の聞き取りをしていただきました。ご協力ありがとうございました。



音楽発表会練習・教育実習生の様子

10 月 11 日の音楽発表会に向けて全校で放課後の合唱練習に取り組みました。どのクラスも日頃の授業の成果を発揮し、自分たちの合唱を作ろうと一致団結して頑張っていました。放課後練習が始まると校内のいたるところから歌声が響き、期待が膨らむものでした。また、同時期に大学生による教育実習を行われました。生徒と一緒に行事や授業に取り組みながら実習の経験を積むことができました。



←音楽発表会に
向けて
実習生の →
授業の様子



学校朝会 (10月21日) 広島平和学習中学生派遣事業発表

夏休みに行われた杉並区の広島平和学習に参加した〇〇さんの学習発表会が学校朝会にて行われました。広島現地での体験や様々な人との交流の中で学んだことについてパワーポイントを使って発表を行い、平和な社会のために自分たちが目指すべきことは何なのかについて自身の考えを述べていました。



校外活動・ボランティア活動・レスキュー隊活動

(参加者敬称略)

9 月・10 月は校内での活動以外にも様々な校外活動に参加した月でもありました。たくさんの生徒が興味や目標をもって自ら主体的に取り組んでいました。今後も継続して取り組んでいきましょう。

9月28日(土) 天沼地区8朝会合同防災訓練

14 名



10月3日(木) 社会を明るくする運動

6 名

10月12日(土) ふれあい運動会

12 名

10月14日(月・祝) たのしさバクハツ! 天沼まつり 吹奏楽部演奏あり

10 名

10月15日(火) 赤い羽根募金活動

10 名



10月20日(日) コミュニティーふらっと本天沼イベント 吹奏楽部演奏あり

4 名



音楽発表会

10 / 11



今年の音楽発表会は昨年のようなインフルエンザの流行もなく、保護者の入れ替えもない久しぶりの全校の合唱、吹奏楽部演奏が楽しめる音楽発表会となりました。10月1日より各クラスでの練習をスタートした生徒たちはこの日のためにたくさんの練習を重ねてきました。公会堂のホールという素晴らしい舞台に緊張しながらも素敵な歌声とクラスの絆を披露していました。

指揮者・伴奏者一覧(敬称略)

ネット上、掲載不可



1学期から、指揮者や伴奏者は、個人でたくさんの時間をつかって練習を重ねてきました。また、実行委員の皆さんも準備や当日の仕事をしながら、学級・学年の中心となって取り組んできました。当日は頑張ったみんなに感謝の拍手が沸き起こりました。

令和6年度 音楽発表会実行委員会(敬称略)

ネット上、掲載不可



受付をいただいたPTAの皆さま



校長先生の歌声も響きました



吹奏楽部の演奏も素晴らしかったです



実行委員のみなさん お疲れさまでした

<音楽科 教諭 より>

今年度の音楽発表会は、私にとって教員として迎える初めての音楽発表会でした。2学期に入るまで、「本番までに仕上がるだろうか」「成功させることはできるのだろうか」そんな不安を募らせていました。ですが、生徒の音楽に対する情熱と、合唱に一生懸命取り組もうとする姿勢は、私の想像をはるかに超えるものでした。また、本番直前の1週間は、各学級の合唱が大きく成長し、そのスピードと集中力に変え驚かされました。この音楽発表会を通して、私の心に深く刻まれたことは、あきらめずに努力し続ける姿、仲間を信じて互いに認め合う心、そして天中生としての音楽に対する誇りです。一生記憶に残る素敵な音楽発表会でした。